

資源再生
技術
メタル
レア

台北でシンポ共催

台湾資源再生協と交流

【台湾・台北15日】

服部友裕(台湾資源再生協会(創会理事長) 蔡敏行・成功大学教授)とレアメタル資源再生技術研究会(会長 藤田豊久・東京大学教授)



あいさつする陳副組長

は共催で15日、台北市南港区にある台北世界貿易センター南港展覽館で「台日資源循環技術交流シンポジウム」を開催した。台湾と日本から産学官の関係者約50人が参集し、最新の資源リサイクルに関する講演が行われた。台湾政府を代表して経済部工業局永統發展組の陳良棟副組長があいさつに立ち「互いの資源リサイクルに関する経験を共有できる貴

重な機会を得た。台湾政府としても、資源リサイクルの方向性を定める一助となる。資源リサイクルはまだまだ日本の方々から学んでいかなければならない。今後、日本と台湾で一層、協力が進んでいくことを期待したい」と語った。

講演ではレアメタル資源再生技術研究会の藤田会長が「日本のレアメタルなどリサイクルの現状」について講演した。引き続き、国立台北科技大学の蘇昭瑾教授が「レアアース元素の回収技術及び再

生応用」、スズトクホルディングスの今井佳昭執行役員が「111年企業―資源リサイクル―としての取組みと将来展望」、財団法人工業技術研究院の葉仰哲經理が「ゴミを黄金に・IT産業の回収商機を見出す」をテーマに講演した。